

3. 本市の現状と課題

(1) 本市の人口推移

本市の人口は、平成27年（2015年）の225,196人から、令和27年（2045年）に200,265人、緩やかに減少すると推計されています。

また、年齢3区分別人口では、平成27年は年少人口が12.7%、生産年齢人口が61.1%、老年人口が25.3%となっていますが、令和27年は年少人口が10.3%、生産年齢人口が52.6%と減少し、老年人口が37.1%と増加することが推計されています。

(2) 生活の変化

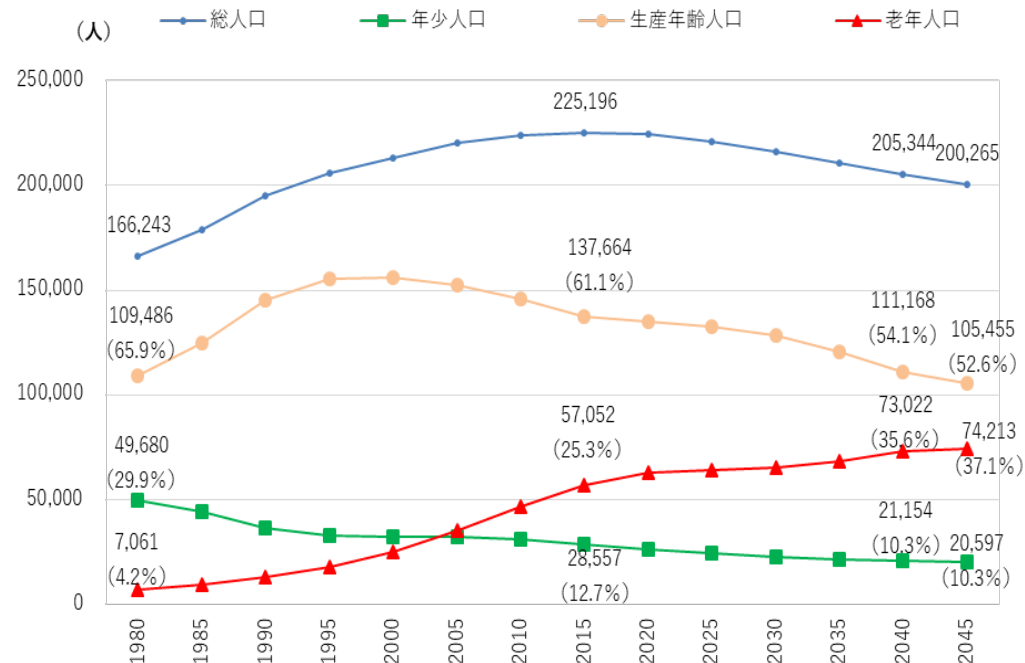
新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、生活や働き方が大きく変化しました。行政サービスについても、この変化に対応していく必要があります。

(3) 課題解決にあたって

人口減少による市税収入の減少の一方で、高齢化による医療や介護などの社会保障関連経費の増加が見込まれ、本市の財政状況はより厳しい状況となることが必至であり、今後も安定的な行政運営を確保し、行政サービスの質を維持することが必要です。

また、新しい生活様式への対応としての非接触環境の整備など、新たなICT*技術を積極的に活用した課題解決が重要です。

上尾市ICT化推進計画により、ICT*を活用した行政サービスのデジタル化による市民の利便性向上や行政事務の効率化に向けた取組を実施していくことで課題の解決を図り、誰もが暮らしやすい上尾市への変革を目指します。



【出典】

総務省「国勢調査」平成27（2015）年
 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」平成30（2018）年

※令和2（2020）年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（平成30（2018）年3月）に基づく推計値

※年齢不詳者もいるため、年齢3区分別の構成比は必ずしも合計が100%になりません